

歌枕・不破関と関ヶ原合戦の地

# 第24回 奥の細道 関ヶ原サミット

会期 平成23年 10月14日(金)  
14:00～16:10 (開場13:30)

会場 関ヶ原ふれあいセンター  
大ホール



今回の「奥の細道」関ヶ原サミットでは、「芭蕉と奥の細道」をテーマに、全く異なる2つの記念イベントを企画しました。

まず第1部の講演では、芭蕉と奥の細道の旅を「歌枕をたずねる旅」という観点からアプローチ。

芭蕉が訪れた歌枕を紹介しながら、古くて新しい旅のスタイル「歌枕観光」を考えます。

続く第2部ではなんと!ピアノコンサートを開催。

奥の細道をテーマとした組曲「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」を主軸に、

芭蕉と奥の細道をイメージしたクラシック曲を加えて全体を構成します。



不破関守跡



不破関資料館



## 第1部 講演

14:10～14:55

### 「芭蕉と奥の細道 ～歌枕をたずねる旅～」

講師  
内田 保廣 共立女子大学教授



松尾芭蕉の奥の細道の旅は、「歌枕をたずねる旅」だったと言われています。芭蕉は自らの俳諧の芸術性を高めるために、和歌や連歌、漢詩をよく研究しており、歌枕の地をたずねることによって、自己の文学を完成させようとしたのだと考えられています。

歌枕とは、歌に詠み込まれた場所、つまり「芸術世界の名所」のことであり、白河の関や松島、最上川、象潟など、奥の細道には数多くの歌枕が登場します。また、関ヶ原町にある不破関や関の藤川も歌枕であり、中でも不破関は、車返しの坂の逸話にもあるように、都人によく知られた歌枕でした。

そこで今回の講演では、「奥の細道と歌枕」を書いた共立女子大学・内田保廣教授をお招きし、奥の細道に登場する「歌枕」を紹介しながら、芭蕉と奥の細道にふれていきます。

## 第2部 コンサート

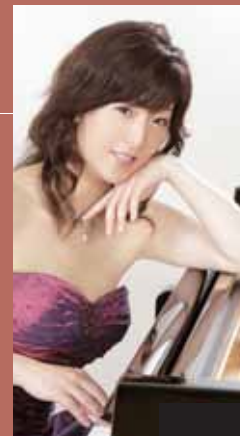
15:10～16:10

### 「奥の細道」 ピアノコンサート

演奏  
浦山 純子 ピアニスト

#### 曲目

「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」より (柏木俊夫)、  
「ベルガマスク組曲」(ドビュッシー)、  
「革命」(シヨパン) ほか



作曲家の故・柏木俊夫氏により、松尾芭蕉生誕300年に当たる年、第2次世界大戦中の1944年に着想され、戦後の1948年に完成した組曲「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」。奥の細道で詠まれた句の中から17句を選び、作曲家のイマジネーションによって「気紛れ」かつファンタスティックに繰り広げる、フランス近代音楽と日本の音楽が融合したこの作品は、残念ながら国内でもあまり知られていません。

この「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」を主軸として、2009年よりリサイタルシリーズ「心の旅への誘い」を展開中のピアニスト・浦山純子さんをお招きし、「奥の細道」をテーマとしたピアノコンサートを開催します。「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」より5曲を選ぶとともに、芭蕉や奥の細道をイメージして選曲した著名なクラシック曲を交えて全体を構成し、音楽を通して芭蕉と奥の細道を体感していただけます。

■入場無料 整理券不要、先着順  
■アクセス JR東海道本線関ヶ原駅下車徒歩10分  
名神高速道路関ヶ原ICから車で5分

お問い合わせ先  
関ヶ原町教育委員会社会教育課 TEL 0584-43-1289